

協議体の設置状況と進捗

第 2 層協議体

地域	設置状況	概要
廿日市	未	11地区の任意の福祉関係者をメンバーとし、第2層協議体準備会として「ささえあいのまちづくり情報交換会」を第2層SC主催で、年4回程度開催している。（令和2年度2回、令和3年度2回予定）
佐伯	未	社協、行政、包括で、佐伯地域づくり戦略会議を開催し、第2層協議体設置に向けて勉強会を企画・実施しているところである。
吉和	済み	生涯暮らし続けられる吉和地域をつくる会 を第2層協議体と位置づけている。コロナ禍で自宅で過ごす人が増えているため、困ったときに電話できる「くらしの電話番号表」を民生委員と支所とともに全戸配布した。
大野	済み	既存の 大野福祉推進委員会 を第2層協議体と位置づけている。福祉部及びサロン活動が実施できていない状況であり、コロナ禍での地域活動の研究が必要である。
宮島	済み	宮島地域コミュニティ推進協議会 を第2層協議体と位置づけている。高齢者を中心とした夜間・休日の緊急介助が地域課題であることを説明し、その対策としてファミサポの活用を提案した。

第 3 層協議体

（設置済み）

地域	地区	協議体の名称	概要
廿日市	廿日市	廿日市地区まちづくり協議会	月2回開催。百歳体操を活用した通いの場を運営。今後、子育て・障がいなど、幅広い分野について勉強会を開催する予定。
	平良	平良地区福祉をすすめる会	不定期開催（年4回程度）。サロン活動を中心に「見守りの場」がある。
吉和		生涯暮らし続けられる吉和地域をつくる会	第2層と同じ。（SCが包括ランチ、支所、診療所と連絡調整して、地域課題の抽出や問題提起を行っている。）
大野	2区	大野2区地域福祉会議	福祉マップ作成に取り組んでいる。
	8区	八区ふれあい福祉の会	福祉のまち推進事業として「MSK活動」を展開している。
	9区	第3層協議体推進委員会	現在、活動再開に向け準備中。
	10区	サロン世話人会	既存の3つのサロンを統合し、子どもから高齢者まで全市民が集えるサロンを開設した。
宮島		宮島地域の福祉を考える会	夜間・休日の緊急介助に対するファミサポの活用について協議しているところである。

（未設置）

地域	地区	進捗状況
廿日市	原	協議体として地区の合意を得ていないものの、「原お互いさまネット」では地区の「気になること」の情報共有ができています。
	佐方	佐方アイラブ自治会住民福祉事業局へ協議体設置について働きかける予定である。
	串戸	串戸地区自治協議会、福祉部、女性部、地域のサロンやサービス事業所等との連携を図っているところである。
	宮内	地理的に広い為、さらに小地域単位での活動を把握して参加する予定である。
	宮園	宮園地区社協や地域自治組織等との連携を深め関係構築に努めている。
	四季が丘	四季が丘地区社協と連携。サロン運営会議に参加し、地域課題に関する情報提供を行っているところである。
	地御前	サロンや自治会と関係を築き、地域について考える場を設ける予定である。
	阿品	「阿品地区の地域福祉を学ぶ会」との連携。3丁目、4丁目の民生委員、町内会長等と集まりの場を持つ予定である。
	阿品台	サロン同士の交流やコミュニティ福祉部への働きかけを行っている。
佐伯	津田・四和	・佐伯地域づくり戦略会議に市民センターの各所長が参加し、それぞれの地区へのアプローチについて協議しているところである。
	友和	・コロナの影響で、各地区へのヒアリングが進んでいないが、今後、4地区の様々な集まり（役員会や総会）に出向き、地域住民との連携を図り、話し合いの場づくり（協議体づくり）を行っていく予定である。
	浅原	
	玖島	
大野	1区	サロンやコミュニティバスなど、区が課題別に話し合いの場があるが、協議体の仕組みにはなっていない。コミュニティバスについては、運転手の確保が課題であり、今年度、まちづくりチャレンジ応援補助金を得て、運転ボランティアの育成等に取り組むことを把握している。
	3区	サロン訪問等を通じて福祉部との連携、及び情報収集等を行なっている。
	4区	区長、及び福祉部会長に協議体の説明を行い、部会で協議体設置の説明の場の提供をお願いしているが、現在中断中である。
	5区	配食サービス活動で住民同士の見守り活動を実施しているが、現在中止している。
	6区	サロン訪問等を通じて福祉部との連携、及び情報収集等を行なっている。
	7区	地域づくり会議(支所関係課間)を通して、アプローチしていく予定。
	11区	「高齢者等移送サービス事業」を通じ、区役員会に参画し課題解決に向け、住民とともに協議を進めている。